

# この地で感じる 啄木の心

こずかた  
不来方のお城の草に寝ころびて  
空に吸はれし  
十五の心

啄木



『少年時代の石川啄木が学校の窓から逃げ出して来て、文学書、哲学書を読み、昼寝の夢を結んだ不来方城二の丸がこの地だった。その当時盛岡中学校は内丸通りに在り、岩手公園とは200メートルと離れていなかった。』

この歌碑は、昭和30年10月、啄木誕生70年を記念して盛岡啄木会の協力で建てられたものである。かつては、ここから岩手山を遠望することができ、盛岡市内も見おろせる風光の地であった。

歌碑の文字は、啄木の恩友金田一京助博士の書である。』

説明板より

京助・啄木が学んだ盛岡中学校（現・盛岡第一高等学校）は、歌碑の左横に見える現在の岩手銀行本店の場所にあります。多くの先人が市内や岩手山を望んだこの地で、先人達が過ごした青春時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

